

## 効果指標と目標値

今後のみちづくりの効果指標及び概ね5年後の目標値を下表のとおり設定しました。

効果指標			実績 (R5 年度末)	目標値 (R11 年度末)
ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり				
1	施策 1-1 施策 1-2	都市計画道路の整備率（総延長：607,360m）	83.5% (507,112m)	85.9% (521,442m)
2	施策 1-3	主要渋滞箇所における渋滞対策の実施済み箇所数 （対象：市管理18箇所）	6箇所	8箇所
3	施策 1-5	橋梁・モノレール長寿命化対策工事の着手率 （対象：R1～R5 定期点検で健全性Ⅲに分類された 構造物）	橋梁 48% モノレール 11%	橋梁 100% モノレール 100%
ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり				
4	施策 2-4	自転車通行空間の整備延長	44.7 km	80 km
5	施策 2-7	市内における道路照明のLED化率 （全灯数：17,743灯）	90% (15,896灯)	100% (17,743灯)
6	施策 2-8	北九州市道路サポーターの加入団体数	259 団体	275 団体
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり				
7	施策 3-1	通学路の合同点検の実施率 （※点検3巡目となる令和7年から5年間を目処 に全ての小中学校区を対象に実施）	—	100%
8	施策 3-1 施策 3-2	ビッグデータを活用した交通安全対策の着手地区数	9 地区	14 地区
9	施策 3-3	主要駅周辺の特定期道路等のバリアフリー化率 （総延長：43,930 m）	95% (41,840m)	100% (43,930m)
10	施策 3-4	事故危険箇所における事故防止対策の実施済み箇所数 （対象：市管理88箇所(第5次指定箇所まで)）	85 箇所	88 箇所

## 8 施策の進捗管理

「道路整備中長期計画」の施策展開にあたっては、PDCA サイクル（「計画の作成」→「施策の展開（実施）」→「施策の評価（検証）」→計画策定から概ね5年後に「計画の見直し（改善）」）を継続的に繰り返すことによって、実効性のある施策を実施していきます。



### 長期的な構想・計画への対応

本計画は、概ね10年以内に取り組んでいく施策を対象としています。一方で、道路の整備は、構想から計画、事業着手まで10年を越える期間を要するものも多くあります。このため、現在構想段階のものや、今後の経済・社会情勢の変化に伴い新たに必要となる道路については、その計画が明確になった時点で、本計画に反映させていきます。